

特集 歯科衛生士ハイジに学ぶ

患者さんに喜ばれる 歯科医院の気配り・目配り・心配り

三木千津 木眞史郎 多田沙織 国方実美 有友美穂 竹井美紗 市原絵花 松岡彰子



ヘルスケアアドバイザーとしての
菌感染リスクマネジメント
SPTにおける
歯周病感染リスクマネジメント
河野真二

セルフコーチング
毎日をこきげんにする方法
次の一手
井上和

仕事と人間関係がグンとラクになる
歯科衛生士のためのパフォーマンス学習法
新しいことをやるとき不安になります
佐藤綾子



V

O

I

C

E

四国発!

歯科衛生士のやりがいと魅力に気づく スタディーグループ I.T.S.

Shikoku ALNABE 香川県 高松市高松区

真鍋美幸

日本歯科大学総合歯科附属病院

口腔衛生学専攻歯科衛生士

NCS、ミントセラピー認定講師、口腔ハイジエニスト(プラチナ)

やりがいと魅力に気づくための1歩、2歩

歯科衛生士として初めて職場に立った日のことを覚えているでしょうか。誰もが理想の歯科衛生士像を思い浮かべ、目標を掲げてプロとしての1日目を目指したはずですが、新人として緊張した日々を送りながら、すぐに歯科衛生士としての力不足と、それを補うための知識・技術習得の必要性を痛感させられた人も少なくないでしょう。

歯科衛生士という職業にやりがいを感じている私が今振り返ってみると、勉強不足を意識し始めたことが歯科衛生士という職業のやりがい・魅力に気づくための第1歩目だったと思います。

「勉強する環境に恵まれない」という歯科衛生士の声を耳にします。「勉強の仕方がわからない」とこぼす友人もいます。またその一方で、病院が歯科衛生士に勉強させようとバックアップしているのに、そのチャンスを活かさない人もいます。聞きます。

職場の違う歯科衛生士が集まれば、それぞれ自分の理想と現実とのギャップを覗きます。しかし、そのことを覗くだけでは何も解決できないのです。予防の重要性を十分理解している院長や歯科医師にも、より高い理想の歯科衛生士像があります。予防を基礎とする診療体制が出来上がってくると、お互いが理想とする歯科衛生士像が、思っているよりもズレが大きいことがわかります。その姿に

近づくためのいちばんの近道は医院全体、全員で努力することであり、それを認識することが歯科衛生士という職業のやりがい・魅力に気づくための第2歩目だと思います。

仲間と踏み出す第3歩

歯科医院はそれぞれ違った環境にあります。すべての歯科衛生士が、同じような条件で臨床に取り組みたり、勉強できるわけではありません。それぞれの環境で、理想とする歯科医療を目指し、努力する必要があります。

その場合、身近に同じような目標をもった歯科医師や歯科衛生士たちが集まり、研鑽を重ねていく場や機会があれば、自分たちの到達度が確認でき、より効果的に理想への階段を上がっていきけると思います。目標とする歯科衛生士との出会いや年齢の近い歯科衛生士と競う機会からは、職場の同僚からとは違う刺激がもたらされます。そして、このような場や機会を得ることが歯科衛生士のやりがい・魅力に気づく第3歩目ではないでしょうか。

昨年四国で、この第3歩目を提供しようと、スタディーグループ I.T.S. (Innovation Treatment in Shikoku) が誕生し、活動を始めました。I.T.S. は「カリオロジー、ペリオドントロジーを基礎として、理想とする歯科医療を歯科衛生士や歯科技工士とともに追求するスタディーグループ」として、眞鍋美幸先生(香川県)、木村幸司先生(香川県)、



図① セミナーには、大勢の歯科衛生士が参加、充実した6日間となった



図② 長谷先生の熱のこもった指導



図③ 相互実習の様子



図④ 懇親会で親睦が深まった



図⑤ 7月例会での症例検討

高橋 啓先生（愛媛県）が中心となって設立されました。

参加条件は、

- ・カリオロジー、ペリオドントロジーに基づく臨床の実践を目指す医院であること
- ・歯科衛生士、歯科技工士と共に学ぶ医院であること
- ・より広く、深く臨床に取り組み医院であることです。年会費はなく、愛媛県松山市、香川県丸亀市での例会、講演会、研修会に出席するたびに参加費を支払う体制をとっています。

セミナーや症例検討会で日々研鑽

本年度の歯科衛生士部門の活動としては、2～4月の土曜日の午後と日曜日に、長谷ますみ先生（NDL株式会社 mint-seminar 主宰）を香川県丸亀市・三豊市にお招きし、「DIYセミナー 歯周治療のベーシックからアドバンス（6日間コース）」を開催しました（図1、2）。3ヵ月にわたるセミナーでしたが、相互実習まで含んだ内容で、参加者からは高い評価をいただきました（図3）。

また、セミナー後の懇親会では、同を重ねるごとに音打ち明け、それぞれが抱える悩みや疑問について気軽に言葉にできる雰囲気でした（図4）。

7月に松山市で開催された例会では、歯科衛生士4名（道徳歯科医院3名、高橋歯科医院1名）による歯周初期治療の症例発表が行われました（図5）。いずれの症例も歯科衛生士の力が十分に発揮された内容でした。

今後のスケジュールとして、11月12日の例会（丸亀市）では「歯科衛生士とともに学ぶ 混合歯周期の患者に対する矯正歯科治療」という演題で、谷本新子先生（岡山県・たにもとゆうこ矯正歯科／岡山大学歯学部矯正科臨床講師）にお話しいただきます。

また、来年3、4月にかけて、丸亀市で長谷ますみ先生のハンズオンセミナーを開催します。それとは別に歯科医師、歯科技工士を対象とした研修会も企画されています。

西国、中国地方で、歯科衛生士という職種に魅力と誇りを感じるために「第3歩目」を踏み出したい方、I.T.S.への参加を大歓迎します。私たちと共にスキルアップしていきませんか。

【I.T.S.についての問い合わせ先】

たかはし歯科 担当 高橋
〒798-4131 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲1916-1
TEL : 0895-72-5888
FAX : 0895-72-5789
E-mail: ksh5teller@ccn.ne.jp